

会報

第19号

平成30年3月31日発行

発行者 黒澤 淳

(公益社団法人)東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会広報局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 37-4

わたしたちも日本代表

TOKYO

鍼師 灸師
マッサージ師

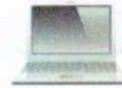
acupuncture
moxibustion
massage

伝統医学で選手をケア



TEL 03-3252-8811

FAX 03-3252-8813



<http://tokyo89am.or.jp/>



toshikai8811@ybb.ne.jp



tokyoshikai



tokyo89am

会長挨拶 黒澤 淳

桜の便りがようやく全国各地から寄せられて来る様になりました。会員のみなさにおかれましては春を喜び、益々ご活躍されていらっしゃると思います。また常より当会活動へのご理解ご協力を頂き、改めまして感謝申し上げます。

年度末を迎え、昨年5月に代表理事に就任致して10ヶ月余りが経ちました。思うように事は進まず、日に三遍どころか六遍、九遍と省みても足りません。まるで亀の歩みの様に遅々としています。ここまで続けてこられたのは他の役員諸氏、会員の皆様のお力添えのおかげです。そして、いつの時か鶴の群れが真白い翼を広げて舞うように、皆様と共に青空へ羽ばたきたいと願っています。本年度を振り返り、多くの活動の中から特に次の事柄について、ご報告致します。

- ・公益事業東京都委託施術者講習会を例年通り開催しました。
- ・女子部の立ち上げと「お灸講座」を開催しました。
- ・東京都鍼灸師会の皆様と新年賀詞交歓会を共催しました。
- ・協同組合設立準備活動を開始しました。
- ・会館の1Fで治療院を開院する準備を開始しました。

日本を代表する煎薬家による無料講座

日本伝統鍼灸の真髄を学ぶ！

平成29年度東京都委託施術者講習会

第1回	6月18日(日) 13:00~17:00 新編ビジネスフォーラム(使用90A) 期日券 1:18-21 期-10102020A-BF TEL: 03-5843-9109	原オサム 「経絡から生ずる力と病の本質」 「病証治癒の考え方と臨床応用」
第2回	7月16日(日) 13:00~17:00 かつしかシンフォニービル(使用100A) 期日券 1:18-21 期-10102020A-BF TEL: 03-5843-9109	木戸正雄 「日本伝統鍼灸の真髄」 「経絡から生ずる力と病の本質」 「病証治癒の考え方と臨床応用」
第3回	8月20日(日) 13:00~17:00 新編ビジネスフォーラム(使用90A) 期日券 1:18-21 期-10102020A-BF TEL: 03-5843-9109	福島哲也 「経絡から生ずる力と病の本質」 「病証治癒の考え方と臨床応用」
第4回	9月17日(日) 13:00~17:00 新編ビジネスフォーラム(使用90A) 期日券 1:18-21 期-10102020A-BF TEL: 03-5843-9109	油谷真空 「経絡から生ずる力と病の本質」 「病証治癒の考え方と臨床応用」
第5回	11月19日(日) 13:00~17:00 新編ビジネスフォーラム(使用90A) 期日券 1:18-21 期-10102020A-BF TEL: 03-5843-9109	大浦慈観 「経絡から生ずる力と病の本質」 「病証治癒の考え方と臨床応用」

① 公益事業東京都委託施術者講習会

本年度の例年どおり伝統鍼灸を中心にしたシリーズ全10回を盛況のうちに開催致しました。各回の内容レポートが会報に掲載されていますのでご覧ください。来年度は例年と異なり「スポーツ」をテーマにした講習会を企画しています。国体や市民マラソン、ワールドカップ・オリンピック・パラリンピックなど国際的な大きな大会が開かれます。今までスポーツの現場で貢献してきた人、これから活躍したいと思っている人、そんな皆様からの声にお応じていきます。来年度計画の詳細が決まり次第ご報告致します

② 女子部の立ち上げと「お灸講座」開催

女子限定でお灸の勉強会。女性が活躍できる場所は伸びる、と言われていています。これからの活躍に期待しています。女子部からの報告をご覧ください。



③東京都鍼灸師会との新年賀詞交歓会の共催

1月31日(水) 18:30 新宿京王プラザホテルにて

昨年から全日本鍼灸マッサージ師会と日本鍼灸師会とで協同事業実施に向けて連携会議が行われています。都師会と東鍼会も協同事業開催に向けて話し合いの場を設けてまいりました。まずはお互いを知ることから始めよう、という事で交歓会共催運

びとなりました。都師会からは、会長・副会長始め理事・支部長が参加し、両会合わせて総勢100名を超える盛会でした。

④協同組合設立準備活動

公益社団法人と比翼連理の関係を築き共に活動できる協同組合の設立準備を進めております。昨年12月に大阪府鍼灸マッサージ師会事務所を訪問し、協同組合の活動状況を視察して参りました。2月には東京都中小企業団体中央会にて組合設立の為の面談を行い、発起人会立ち上げ設立準備を進めております。さらに進展致しましたら、ご報告致します。

⑤会館の1Fで治療院を開院するための準備開始

事務局が1Fから2Fに移りました。空いた1Fで治療院を開院します。ベッド2~3床で新協同組合が経営に当たります。5月以降オープン目標で準備を進めています。将来的にはOJT研修等の場として広く会員の皆様にも活用して頂けるよう考えています。



東洋療法推進大会 京都大会 参加レポート

H29年9月24日(日)12:00~9月25日(月)13:00

皆川 黒澤 松村の3名が参加し、以下に当日配布されたレジュメを基に講演・分科会の内容をレポート致します。

1 特別講演「iPS細胞による網膜再生とロービジョンケア」

国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト研究員 仲泊聡 先生

最近まで障害されると再生しないと思われていた網膜をiPS細胞を使って再生する試みがはじまっている。現在行っている網膜移植治療は、iPS細胞から作った網膜色素上皮という細胞を加齢黄斑変性という疾患の患者の目に手術的に植えるものである。2014年9月12日に世界で初めてこの治療を受けた患者の経過は順調で現在更に改良を施して別の患者への治療が行われている。このような治療が行われるようになると、世の中から視覚障害は無くなる訳ではない。まったく見えなかった人がわずかに見えるようになる事は十分可能性があるが、普通の視力に戻ることは実現には未だ難しい。この不十分な見え方により生活にまだ支障を残している状態をロービジョンと呼ぶ。

しかし、その違いは大きく、また得られたロービジョンを如何に生活の効率改善に結びつけるかは、術後の患者の生活の質に大きく関わる。眼球に修正を加えるだけでなく、情報提供と訓練によっても視覚障害者の社会参加を促す事を目指している。

ロービジョンケアには、ニーズ聴取、視機能評価、書類作成、社会資源の情報提供、エイドの紹介、環境整備の6つパートがあり、既存の支援施設との連携を軸に情報提供を行い、周囲のひとの理解促進、空間整備、社会啓発、環境整備、特に視覚障害者の就労支援に力を入れている。

就労は視覚障害によって失うことの多い、所得、所属、生きがいの全てを同時に取り戻す可能性を秘めている。これを実現するには、見えない、見えにくいことで苦手となった、移動、



読字、表情把握、を何らかの方法でカバーする必要がある。これまで、そのような状況に置かれた視覚障害者を支えていた就労支援の代表が東洋療法である、あん摩・マッサージ、鍼灸である。

2060年には国民の40%が高齢者になると言われている。しかしICT・AIが当たり前の時代になり、「高齢者・障害者でも生産者であれ」という社会的要請はどんどん大きくなると予想される。新しい技術、新しい考え方で、これからの時代を切り開いていく必要があり、その中で東洋療法は古い捨て去るべき方法ではなく、大切な選択肢の一つである。そして視覚障害者の就労フィールドとして、より効果的に実現する方法についてもさらに検討していく。

2 スポーツ事業委員会「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて」



2年後に迫った2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、委員会として2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と協議を重ねている。その進捗報告と全国の市町村で着々と決定しているキャンプ地でのトレーナー活動の準備方法と、都道府県での委員会立上依頼について。

3 AcuPOPJ(国民のための鍼灸医療推進機構)活動報告

鍼灸医療推進機構)活動報告

国民のための鍼灸医療推進機構(略称 AcuPOPJ)の組織体制、実施事業が紹介された。本機構設立の目的・組織体制、普及啓発作業部会の事業内容(主に鍼灸 net)について。鍼灸グランドデザイン検討委員会及び研修部会についての紹介。「鍼灸師卒後臨床研修」について。

4 保健推進委員会(1)「いわゆる『不正請求対策』における対応について、受領委任制度導入後の取り扱いの変化について」

国に対して要望してきた「一部負担金で掛かれる制度」については、受領委任制度導入の方



向性がしめされる事で一定の成果を得た。

しかしながら、その制度概要は本来要望していた内容とかけ離れ、更なる受領抑制を招く危険性を孕んだものとなってしまった。特に制度導入の前提として課題に挙げられた、いわゆる「不正対策案」は真摯にあはき術を営む施術者の大きな負担となる可能性が高い。

「不正請求」を防ぎ、真面目に施術に取り組む施術者が「受領抑制」の憂き目に会うことのないように、今後も最大限努力していく一方、社会保障の抑制という大きな流れの中で、施術者自身が公的財源を扱うに値すると評価される姿勢を持つこと重要である。

「不正対策」としてどのような事が指摘され、どのように対応していくべきか。また「あはき受領委任制度」は、どのような制度となり、施術者はどのような影響を受けるのかを予想し、大きな制度変更に備える。

5 災害対策委員会「熊本地震祭が医療派遣の報告」

H28年に発災した熊本地震に災害医療として実際に派遣された担当者からの発表。発災直ぐに現地に入りして仮設住宅で活動した時の報告。

6 保険推進委員会(2)「あはき療養費の中長期展望を考える」

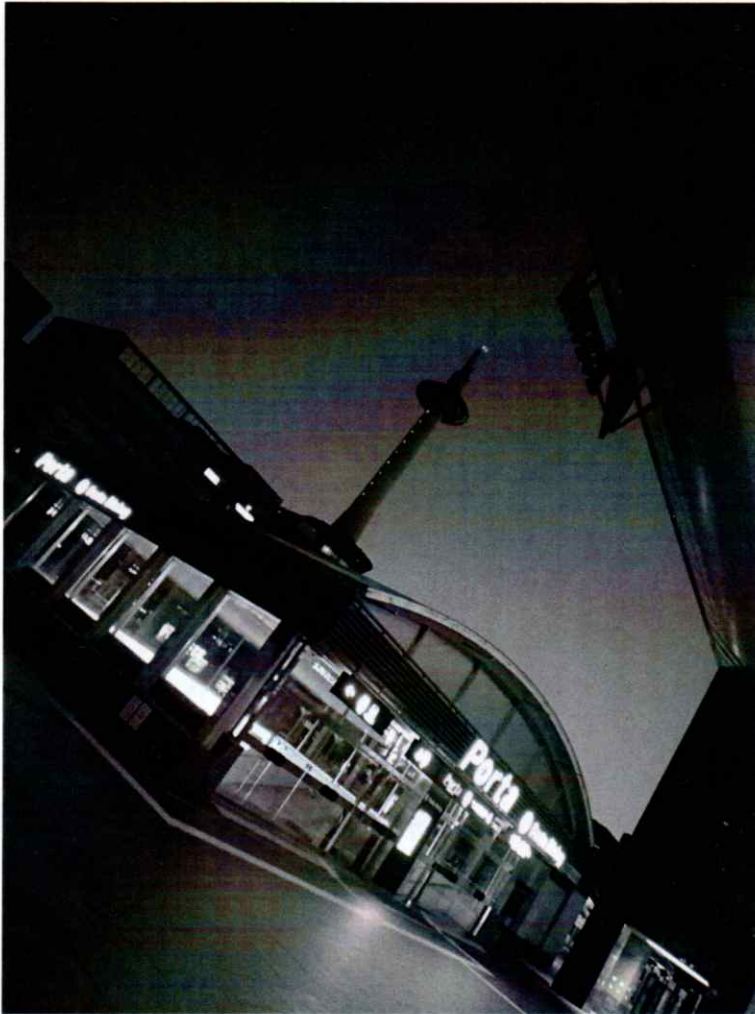
社会保障費全体の抑制が行われていく中で、あはき療養費についても大きな選択を迫られている。業界内部で、どのような療養費制度が患者にとって有益なのか議論し取り組むべき課題を共有する。

7 学術委員会「臨床発表」

世界における鍼灸マッサージは、治療・予防効果が評価され、エビデンスが確立されつつある。世界鍼灸学会も昨年は筑波で盛況のうちに開催された。鍼灸マッサージ医療は、全人的で、オーダーメイドの治療であり費用対効果の高い医療システムである。しかし国内では医療・介護保険等社会保障制度の抑制や国民の鍼灸受療率が4%程度と低迷しており、本来の鍼灸マッサージの素晴らしさを伝えきれていない。業団としては保険制度推進と同様に、臨床の実際や各地域での取り組みを発表し施術の質の向上を図る。



8 無資格対策委員会「どうなる？あはきの広告規制—その意義と意味について」



平成29年月14日公布の医政局発0614第6号「医療法等の一部を改正する法律」において「医療に関する広告規制の見直しに関する事項」が盛り込まれた。これは安全で適切な医療提供の確保を推進する事を趣旨とした改正である。業界内部ではあはきは医業であるか、医業類似行為であるかとの議論は活発に行われており、明確な答えには「あはき法」の改正が必要であり、その前段階として「広告規制の見直し」は必須事項である。厚労省から佐生啓吾医事専門官を招き今後の「あはき広告規制」の方向性についてシンポジウム形式で議論した。

9 地域健康作り委員会(介護推進委員会)「総合事業の実際—事業に関わるためには」
地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが、全国的に進んでいる。自治体が最初に取り組むべき課題である「総合事業」は鍼灸マッサージ師が専門職として関わることのできる事業である。いくつかの地域での鍼灸マッサージ師が総合事業に関わるためにどのような事を行っているのか? 事例紹介とシンポジウム。

10 視覚障害委員会「視覚障害あはき師の現状と未来」

会員の大半は自営業者である。視覚に障害を持っていても健常者と可能な限り同じ様な仕事ができるように色々な角度から検討している。かつては、話術と蝕知能力に秀でた視覚障害鍼灸マッサージ師は、それだけで相当な営業成績を上げる事ができた。ところが現在は、多様化する価値観の中で技術と会話能力だけでは通用しなくなってきた。鍼灸マッサージ師が個人としてどんな努力をしなければならないのか。業団体としては何を提供すれば、業界のレベルアップにつながるのか。日本理療科教員連盟 栗原会長からの提言。

都師会女子部お灸講座報告

2018年1月17日(水)

講座のテーマ：知熱灸（火傷をさせないお灸）の活用方法

<知熱灸とは>

知熱灸というのは、皮膚に熱を知らせて取ってしまうお灸。津液（むくみ、体液）を動かすことを目的として井上恵理先生が発明したとされている。

宮川先生の「温灸読本」は、知熱灸の使いわけと経脈を丁寧に解説しているため、この灸講座のテキストとしている。

知熱灸の使いわけには、補と瀉がある。

補的に使うときの艾はしっかりと硬く作る。堅いことでゆっくりと熱を与えることができる。補いたい時は、腠理を開かせない。ほわっと温かいところで患者さんに教えてもらって取り除くことを繰り返す。指で閉じて艾乗せることを繰り返す。ツボの凹みがあがってくるまで何壮もする。気持ちいい熱は、体が受け入れてくれる。補的な知熱灸がふさわしい虚のツボはへこんで、力がない。奥にボタン状の固まりがある場合か、底なし状態。凹みを熱で埋めて行く。何壮かは凹みがなくなって行く状態を見て決める。

瀉的に使う時は、皮膚を驚かせて、腠理が開くことを目的とする。驚かせると、反発を生む。その排除しようとする勢いが強いほど、瀉的になる。水（汗）を出して熱を消そうとする。

瀉的な知熱灸が適しているのは、硬くて冷たいところ。鍼を刺すことが筋組織等を傷めてしまうリスクがある時。非常に硬い、こんもりと盛り上がっている、張っているかのなど。氷のようなところを溶かしたいか、砕きたいのか。膨らんだ風船の空気を抜きたいのか、目的に合わせて熱の加減を変えていく。氷のように冷たければ、かなりの熱量を与える必要あり。艾を高い熱量の出るものを選ぶ。荒艾など。火傷をさせる危険もあるので取るタイミングに十分配慮すること。

<気を通すツールとしての知熱灸>

補瀉の使い方とは別に、知熱灸を経絡流注と組み合わせて使うと鍼のような効用がある。例えば、足のツボにすることで、上半身を緩むという現象が起きる。鍼のようにお灸が使えるということは、鍼が使えない地域や、鍼治療しにくいエイズ患者などの安全で効果的な治療の可能性が広がる。

今日の実習項目：

- ・水泉→腎経の気を通す。腎虚ベースの腰痛や喉痛、声かすれなど。体のインナーマッスル的な所を突き抜けて、霊墟、神蔵、或中、兪府あたりのカチカチになっているところを緩める。
- ・解谿、犢鼻→胃経の気を通す。心下痞硬（不容あたりのつかかり）と、気戸、庫房、屋翳あたりの硬い所を緩める。

・裏行間（行間の裏側）→肝経の気を通す。頭痛、目の奥の痛みに効く。足が冷たい時は透熱灸の方が良い。

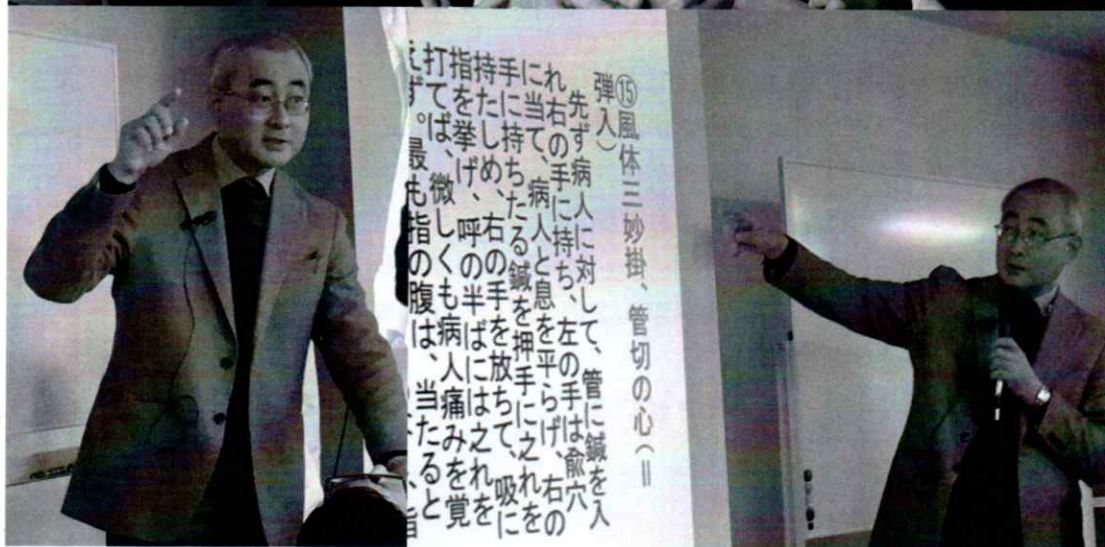
・天宗→肩関節の動きの悪さに効く。天宗が痛いほど効く。小腸経の実を瀉することで、表裏の心経を補うことになる。（狭心症、動悸感など）



女子部 竹井 智子

平成29年度 東京都委託施術者講習会

- 9月17日 油谷真空「入門・北辰会の理論とわざ」
- 11月19日 大浦慈観「腹診による毒と邪気の診察」



スポーツ事業に関するお知らせとアンケートご協力のお願い

【スポーツ事業局について】

この度スポーツ事業に取り組む部署を設置しH30年度から活動を始めます。市民マラソンや区民スポーツ大会、国体、ワールドカップ更に2020東京オリンピックパラリンピックと様々なスポーツイベントが開催されます。こうしたスポーツイベントに参加される競技者の方々のケアをするための活動をサポートしていきます。スポーツ分野で既に活躍されている方のスキルアップ、これから力を入れたい方の基礎トレーニングなどの講習会や大会現場参加情報発信などを行っていきます。H30年度の東京都委託施術者講習会はスポーツ分野のシリーズを予定しています。

また東京都師会としての活動と合わせて、全日本鍼灸マッサージ師会の講習会ともリンクして幅広い活動を目指していきます。

【全鍼師会スポーツ講習会について】

はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の国家資格所持者を対象にスポーツ鍼トレーナーとして必要な知識・技術取得するため、年2回（前期6月・後期12月）スポーツ鍼灸・マッサージ師指導者育成講習会を開催し、日本体育協会公認アスレティックトレーナーの研修内容を参考に、前期はトレーナーとしての心得、スポーツ医学（内科・整形）心理学、栄養学、コンディショニング概論など基礎講座、後期はスポーツ鍼灸・マッサージの実技、ドーピングなど実技中心に講座を行っています。

その講座受講およびフィールド活動など当会が定めた要件で単位を取得した者をA級・S級スポーツ鍼トレーナーとして（公社）全日本鍼灸マッサージ師会が認定しています。各都道府県の体育協会に名簿を送付し、認定鍼灸師・マッサージ師がスポーツトレーナーとして、ドクター・監督・コーチ・スタッフと協力し、地域をはじめ国際選手の医科学サポートができる人材として活躍を期待するものであります。

A級・S級の具体的活動は、各地域にあるスポーツ少年団・中学生・高校生の成長過程に則した指導内容に基づき、青少年の体力および心理的なサポートを行う人材の育成を行います。また、日本代表および都道府県代表選手サポートのため、中央競技団体・都道府県体育協会など、関係団体との協調のもと、人材の派遣と管理を行います。

※都師会開催の東京都委託施術者講習会は都からの補助があるため参加費は無料です。全鍼師会開催の「A級・S級スポーツ鍼トレーナー講習」は有料の講習会です。ただし都師会・全鍼師会会員は受講費用面で優遇されます。詳しくは事務局までお尋ね下さい。

【アンケートご協力のお願い】

つきましては、今後の運営の参考にさせて頂きたく、同封のハガキのアンケートにご協力お願い致します。